

南風原町総合計画に関するアンケート調査
結果報告書
(概要版)

令和8年6月

南風原町

目 次

第1章 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の対象.....	1
3 調査の期間.....	1
4 配布・回収結果.....	2
第2章 一般アンケート調査結果の概要(抜粋).....	3
1. 回答者について.....	3
2. 南風原町への愛着について.....	4
3. 今後の定住意向について.....	5
4. 今後のまちづくりの希望について.....	6
5. 町の施策に対する満足度と重要度について.....	8
6. 行政サービス満足度について.....	20
7. 学校生活について.....	21
8. 幸福度について.....	22
9. 自由意見について.....	24

第1章 調査概要

1 調査の目的

①一般アンケート調査

南風原町では、まちづくりの指針である「第五次南風原町総合計画後期基本計画」が令和8年度をもって終了することから、前計画の施策評価や今後のまちづくりの方向性等について町民の意見を把握し、新たなまちづくりの指針となる「第六次南風原町総合計画」に反映することを目的として調査を実施しました。調査は、無作為に抽出した18歳以上の町民3,000人を対象としました。

②小学生アンケート調査

「第六次南風原町総合計画」を策定するにあたり、まちづくりに関する考えや、意見等を把握することを目的に実施しました。南風原町立小学校(南風原、北丘、津嘉山、翔南)の5年・6年生の方を対象に実施しました。

③中学生アンケート調査

「第六次南風原町総合計画」を策定するにあたり、まちづくりに関する考えや、意見等を把握することを目的に実施しました。南風原町立中学校(南風原、南星)の1年・2年・3年生の方を対象に実施しました。

2 調査の対象

- | | |
|-------------|--|
| ①一般アンケート調査 | 町内在住の18歳以上の町民3,000人(調査票配布・インターネット調査) |
| ②小学生アンケート調査 | 南風原町立小学校(南風原、北丘、津嘉山、翔南)の5・6年生1,099人(インターネット調査) |
| ③中学生アンケート調査 | 南風原町立中学校(南風原、南星)の1・2・3年生1,540人(インターネット調査) |

3 調査の期間

○令和7年10月1日～令和7年10月31日

4 配布・回収結果

①一般アンケート調査

対象	配布数	回収数			回収率		
		郵送受取	Web 回答	合計	郵送受取	Web 回答	合計
町内在住の 18歳以上の方	3,000 票	580 票	397 票	977 票	19.33%	13.23%	32.57%

②小学生アンケート

対象	配布数	回収数	回収率
南風原町立 小学校5・6年生	1,099 票	751 票	68.33%

③中学生アンケート

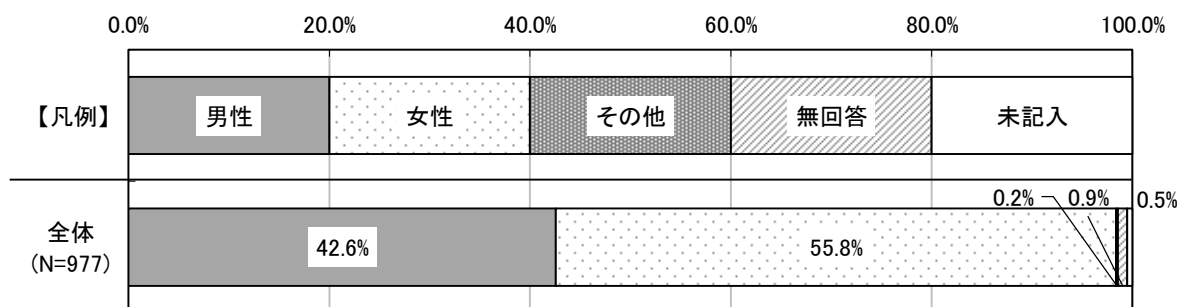
対象	配布数	回収数	回収率
南風原町立 中学校1・2・3年生	1,540 票	1,120 票	72.73%

第2章 一般アンケート調査結果の概要(抜粋)

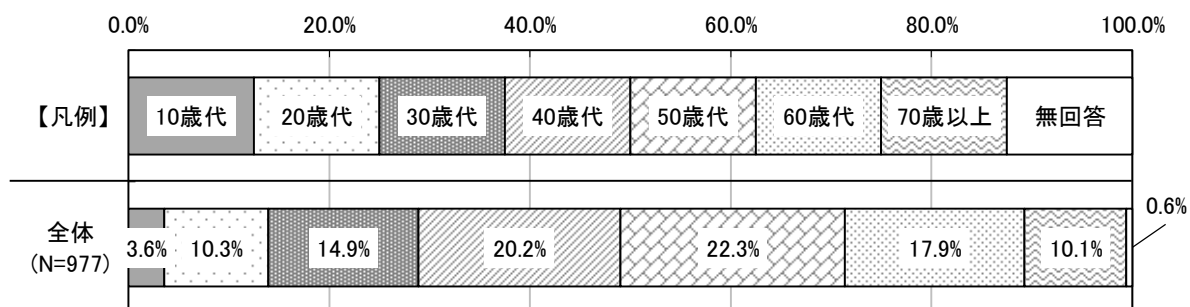
1. 回答者について

- 回答者の性別は、「男性」が42.6%、「女性」が55.8%、「その他」が0.2%となっています。
- 回答者の年齢別は、「50 歳代」が22.3%と最も多く、次いで「40 歳代」で20.2%、「60 歳代」で17.9%などとなっています。

○一般:性別



○一般:年齢別

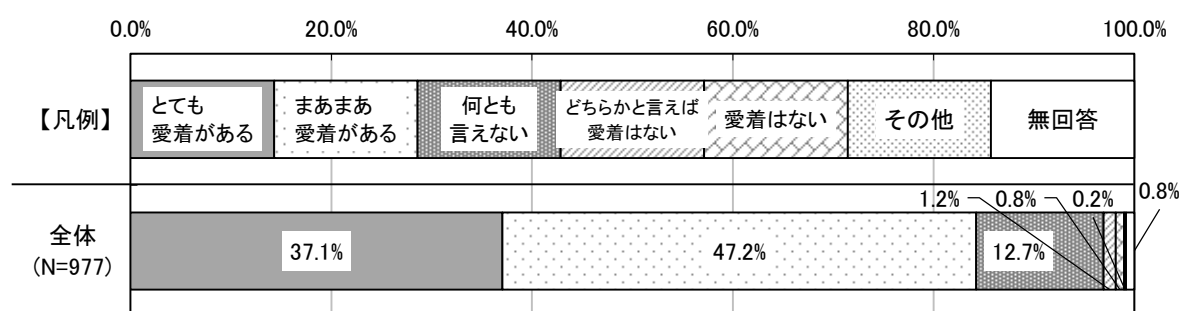


2. 南風原町への愛着について

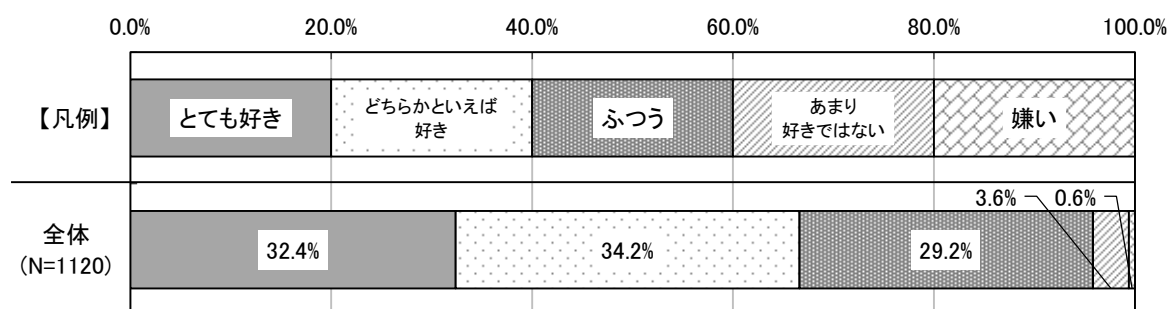
⇒町民の8割以上、中学生の6割以上、小学生の7割以上が町に愛着を感じている。

- 町民の町に対する愛着度は、「まあまあ愛着がある」の意見が 47.2%と最も多く、次いで「とても愛着がある」で 37.1%、「何とも言えない」で 12.7%などとなっており、『愛着がある(「とても愛着がある」+「まあまあ愛着がある」の合計)』と回答された方が 84.3%となっています。
- 中学生の町に対する愛着度は、「どちらかといえば好き」の意見が 34.2%と最も多く、次いで「とても好き」で 32.4%、「ふつう」で 29.2%などとなっており、『愛着がある(「とても好き」+「どちらかといえば好き」の合計)』と回答された方が 66.6%となっています。
- 小学生の町に対する愛着度は、「とても好き」の意見が 48.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」で 27.4%、「ふつう」で 22.0%などとなっており、『愛着がある(「とても好き」+「どちらかといえば好き」の合計)』と回答された方が 75.7%となっています。

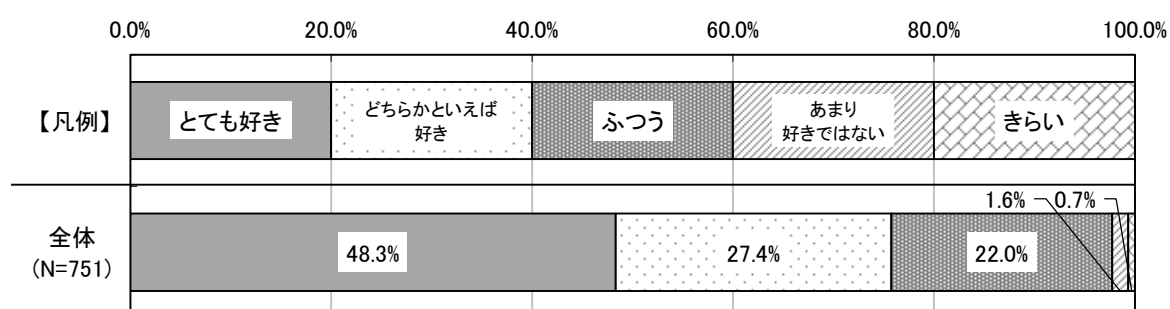
○一般：町への愛着度



○中学生：町への愛着度



○小学生：町への愛着度

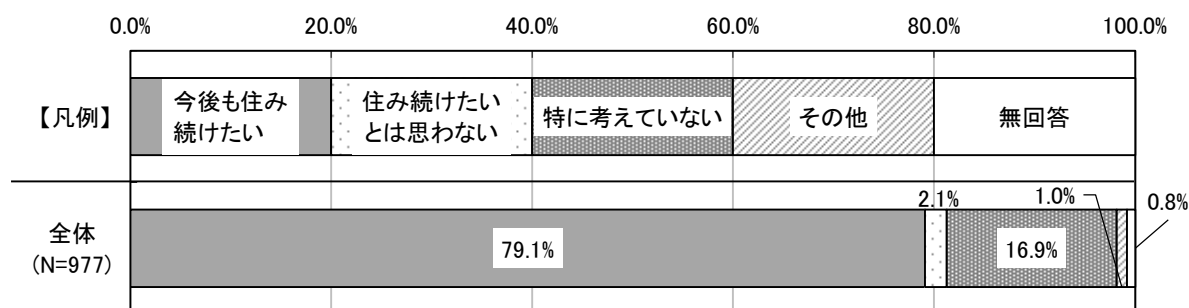


3. 今後の定住意向について

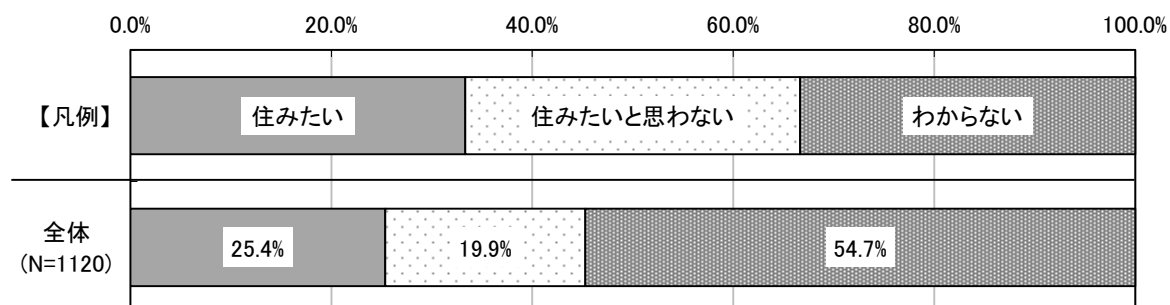
⇒町民の約8割が今後も定住の意向を示している。一方、小・中学生の半数以上が決めかねている。

- 町民の居住意思は、「今後も住み続けたい」が 79.1%と最も多く、次いで「特に考えていない」で 16.9%などとなっています。
- 中学生の居住意思は、「わからない」が 54.7%と最も多く、次いで「住みたい」で 25.4%などとなっています。
- 小学生の居住意思は、「わからない」が 53.1%と最も多く、次いで「住みたい」で 33.0%などとなっています。

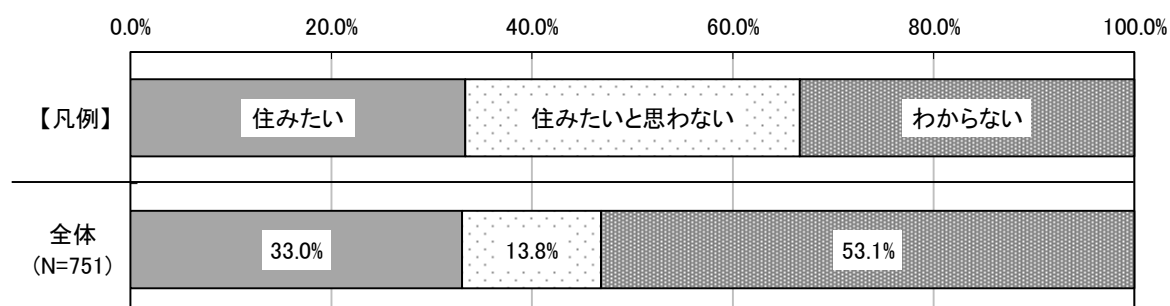
○一般:定住意向



○中学生:定住意向



○小学生:定住意向

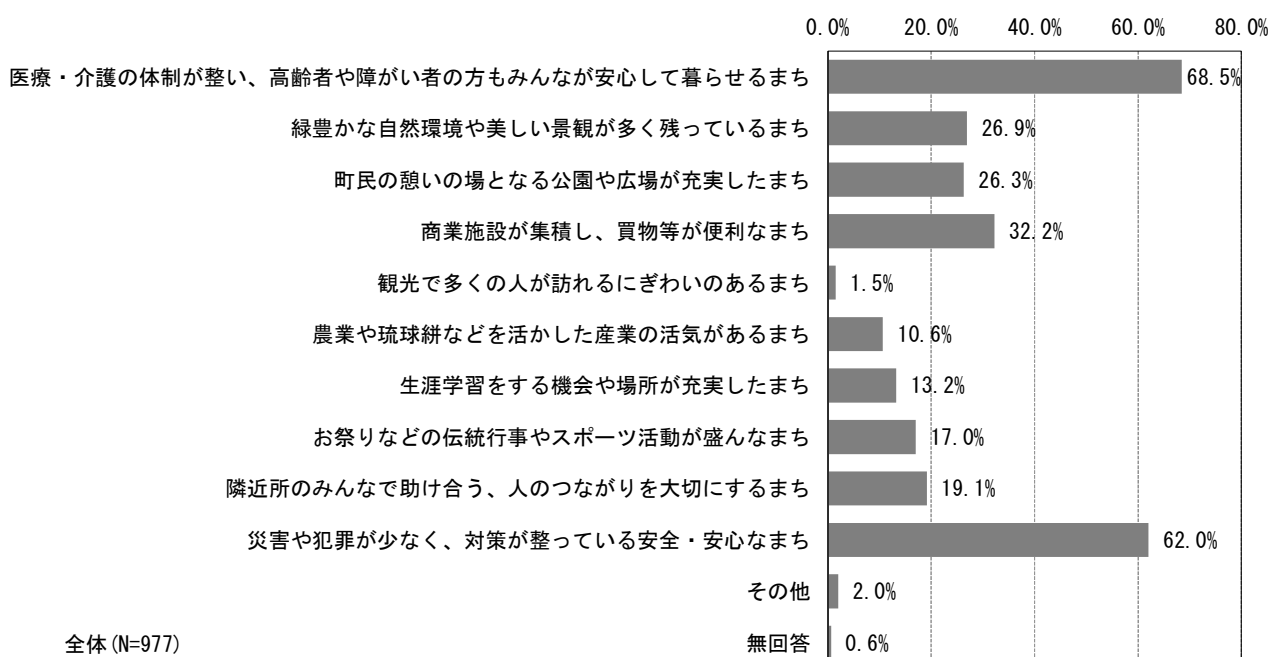


4. 今後のまちづくりの希望について

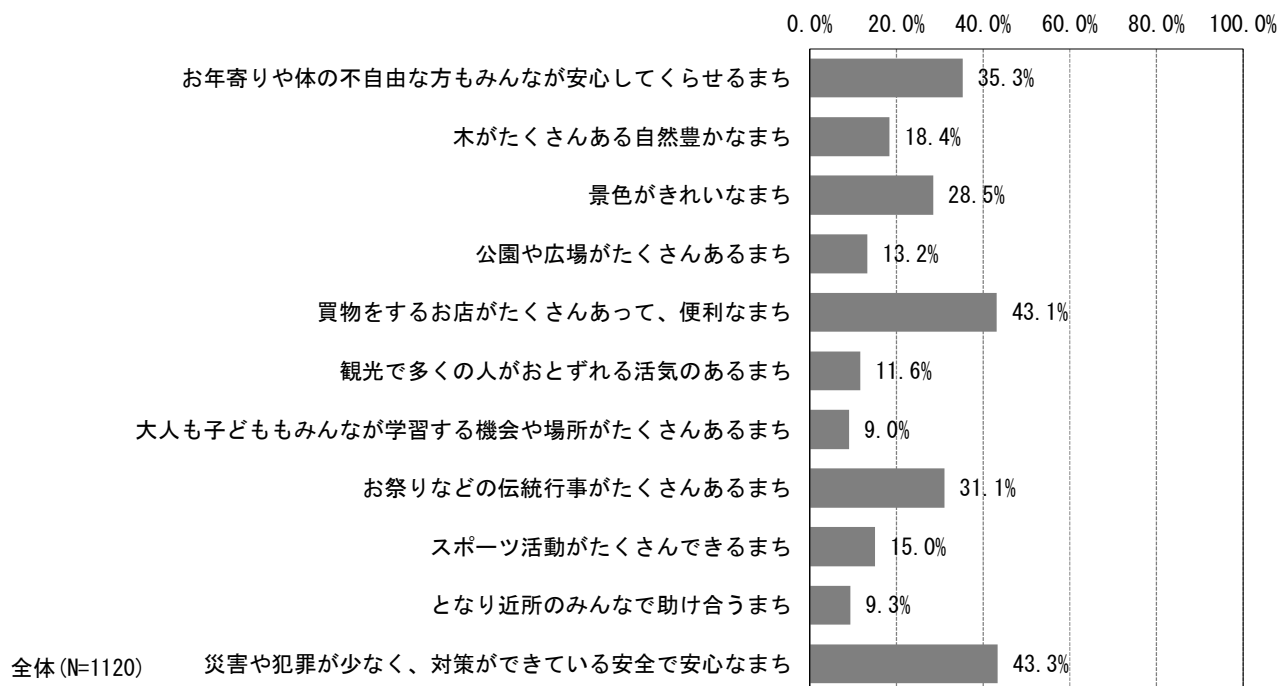
⇒「医療・介護の体制が整い、高齢者や障がい者の方もみんなが安心して暮らせるまち」、「災害や犯罪が少なく、対策が整っている安全・安心なまち」への希望が高い。

- 町民の今後のまちづくりの希望は、「医療・介護の体制が整い、高齢者や障がい者の方もみんなが安心して暮らせるまち」が 68.5%と最も多く、次いで「災害や犯罪が少なく、対策が整っている安全・安心なまち」で 62.0%、「商業施設が集積し、買物等が便利なまち」で 32.2%などとなっています。
- 中学生の今後のまちづくりの希望は、「災害や犯罪が少なく、対策ができていて安全で安心なまち」が 43.3%と最も多く、次いで「買い物をするお店がたくさんあって、便利なまち」で 43.1%、「お年寄りや体の不自由な方もみんなが安心して暮らせるまち」で 35.3%などとなっています。
- 小学生の今後のまちづくりの希望は、「災害や犯罪が少なく、対策ができていて安全で安心なまち」が 53.7%と最も多く、次いで「お年寄りや体の不自由な方もみんなが安心して暮らせるまち」で 45.1%、「お祭りなどの伝統行事がたくさんあるまち」で 32.5%などとなっています。

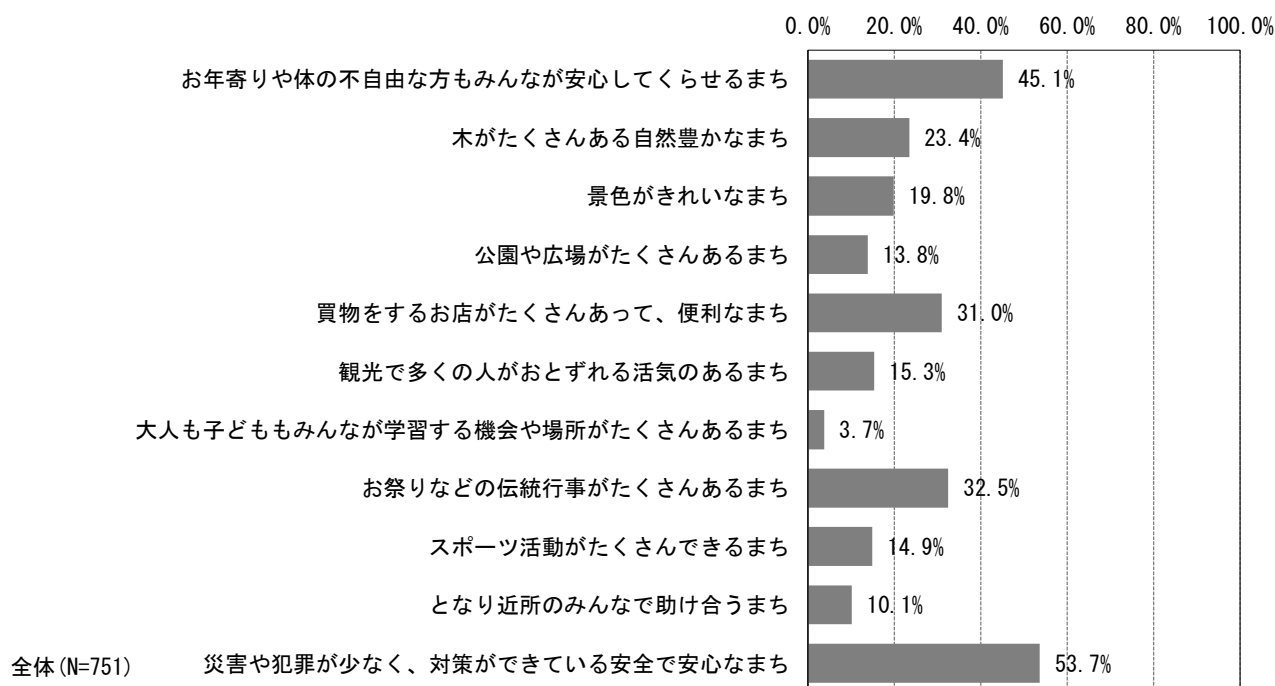
○一般:今後のまちづくりの希望



○中学生:今後のまちづくりの希望



○小学生:今後のまちづくりの希望



5. 町の施策に対する満足度と重要度について

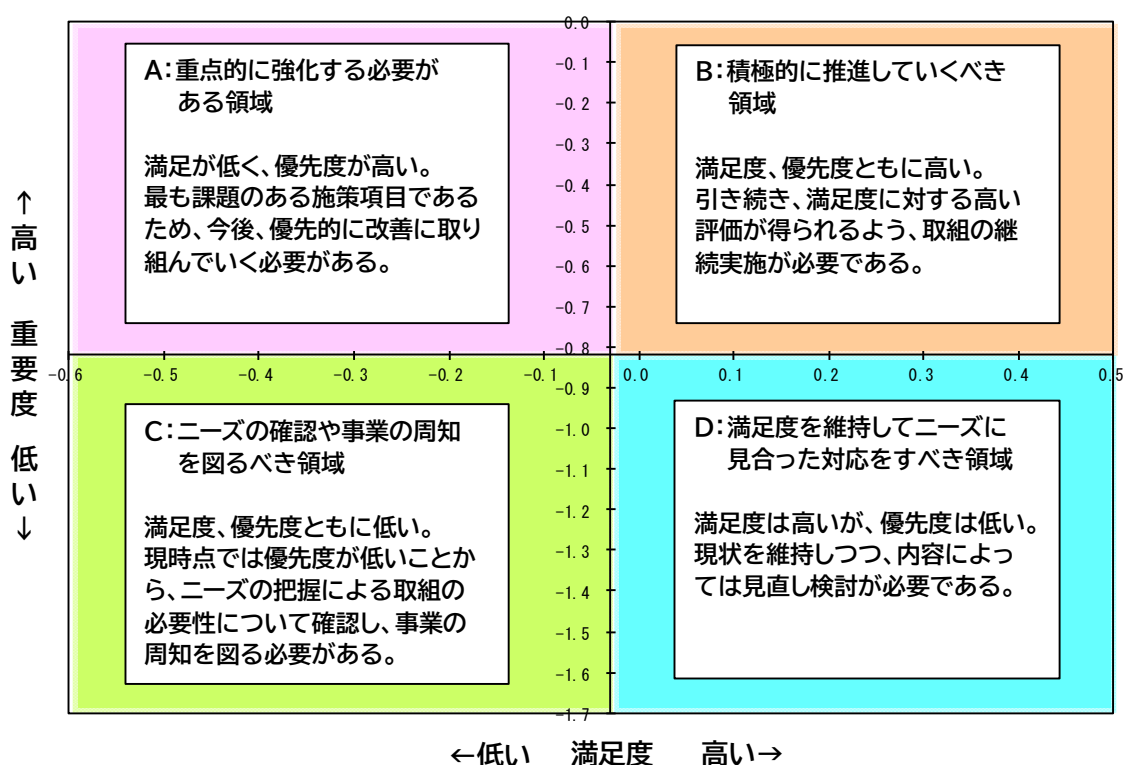
■満足度と重要度のポートフォリオ分析の手法

「第五次南風原町総合計画後期基本計画」における施策について、各施策の満足度(現状)を4段階、重要度(今後)を5段階で点数をつけ、合計点を回答数(無回答を除く)で除した値を指数としました。その結果、満足度の平均点は「0.93」、重要度の平均点は「1.48」となりました。この指数を基に、施策項目ごとに満足度を横軸、重要度を縦軸に取った散布図で表現し、A～Dの4つの領域に分類を行いました。

満足度と重要度の点数表

①満足度		②重要度	
満足	3点	とても重要	3点
やや満足	2点	重要	2点
やや不満	-2点	ふつう	1点
不満	-3点	あまり重要でない	-2点
		重要でない	-3点

各領域の概要



領域の優先順位

優先順位 1 位: 領域 A 重点的に強化する必要がある領域

優先順位 2 位: 領域 B 積極的に推進していくべき領域

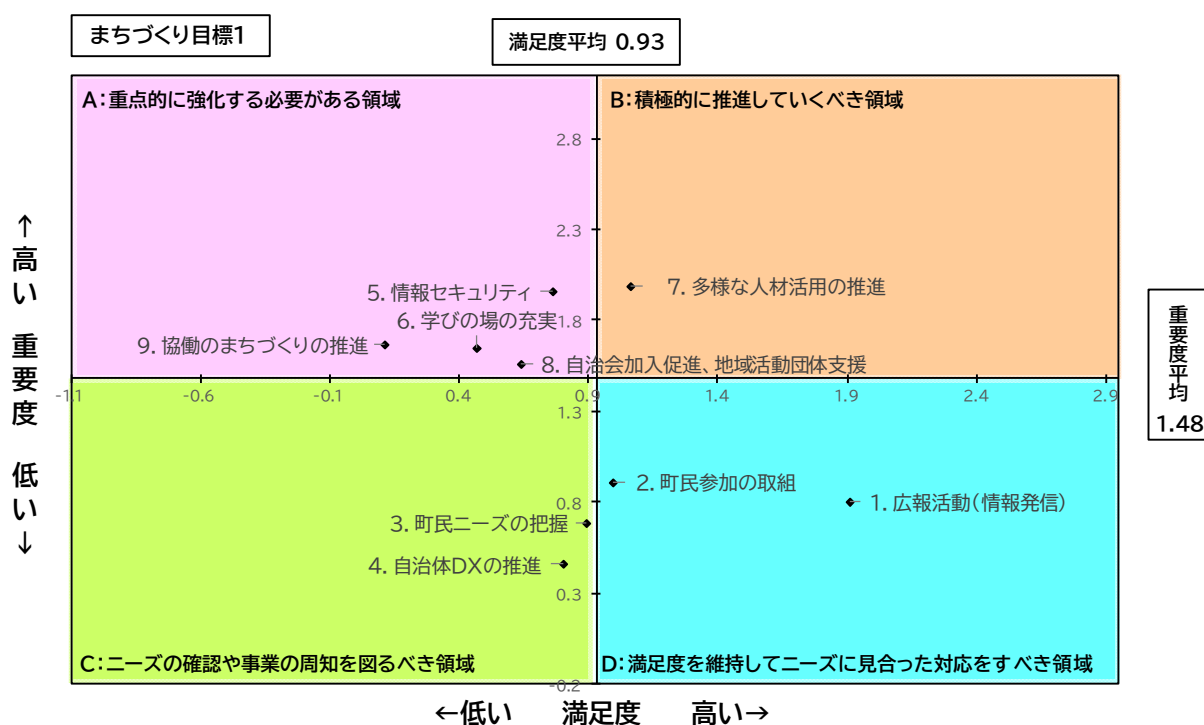
優先順位 3 位: 領域 C ニーズの確認や事業の周知を図るべき領域

優先順位 4 位: 領域 D 満足度を維持してニーズに見合った対応をすべき領域

■ポートフォリオ分析結果

まちづくり目標1. みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

- 領域 A(満足度が低く、重要度が高い施策)は、「5.情報公開や電子申請、マイナンバーカード等の情報セキュリティに関する取組」、「6.町民がまちづくりに関心をもつような講演会、出前講座、学習会の実施等、学びの場の充実」、「8.自治会加入促進や地域活動団体への支援」、「9.協働のまちづくりを推進するための取組」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B(満足度も重要度も高い施策)は、「7.豊富な経験や知識を有する多様な人材の活用」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組の継続実施が必要です。
- 領域 C(満足度、重要度がともに低い施策)は、「3.行政懇談会や議会報告会、まちメールや町政提案箱による町民ニーズの把握」、「4.自治体 DX の推進に関する取組(行政手続等の利便性向上、電子申請の充実、マイナンバーカードの普及など)」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取組の必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D(満足度が高く、重要度が低い施策)は、「1.広報はえばる、議会だより、ホームページ、SNS 等による町の広報活動(情報発信)について」、「2.各種委員会の公募やパブリックコメントなどを活用した町民参加の取組」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。

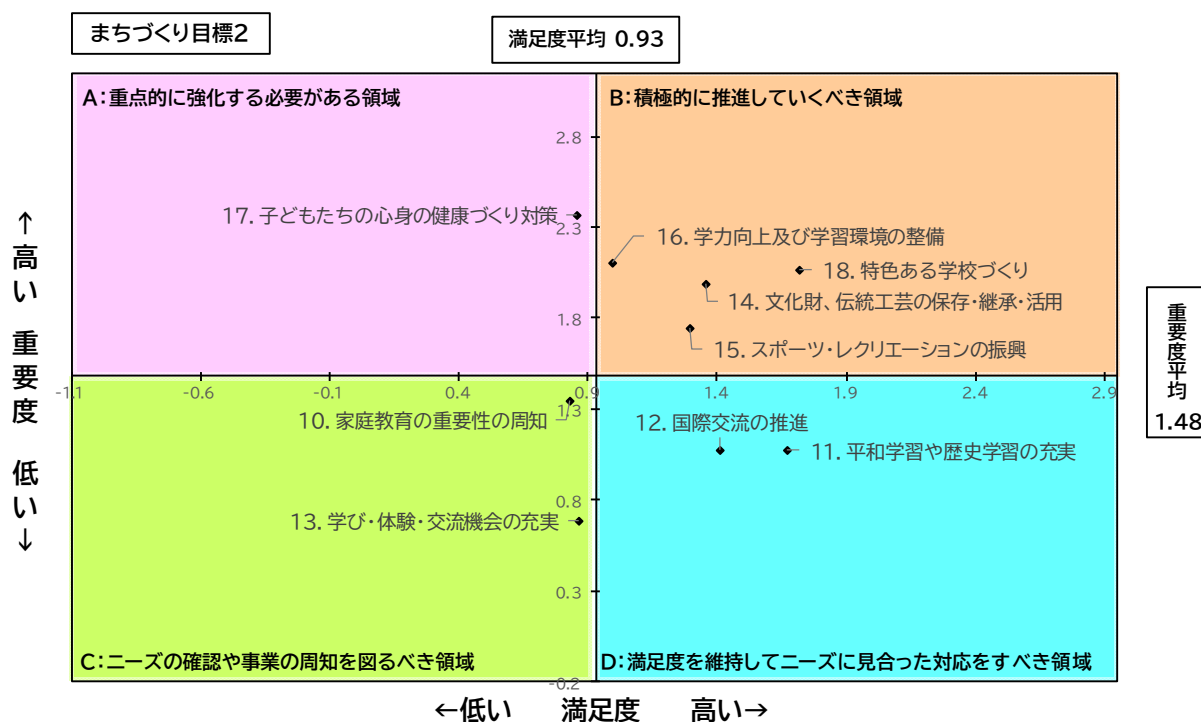


満足度と重要度の指数計算結果

領域	施策名	満足度	重要度
領域 A	5.情報公開や電子申請、マイナンバーカード等の情報セキュリティに関する取組	0.75	1.96
	6.町民がまちづくりに関心をもつような講演会、出前講座、学習会の実施等、学びの場の充実	0.46	1.65
	8.自治会加入促進や地域活動団体への支援	0.64	1.56
	9.協働のまちづくりを推進するための取組	0.12	1.67
領域 B	7.豊富な経験や知識を有する多様な人材の活用の推進	1.06	1.99
領域 C	3.行政懇談会や議会報告会、まちメールや町政提案箱による町民ニーズの把握	0.90	0.69
	4.自治体 DX の推進に関する取組(行政手続等の利便性向上、電子申請の充実、マイナンバーカードの普及など)	0.80	0.46
領域 D	1.広報はえばる、議会だより、ホームページ、SNS 等による町の広報活動(情報発信)について	1.91	0.81
	2.各種委員会の公募やパブリックコメントなどを活用した町民参加の取組	1.00	0.92

まちづくり目標2. きらきらと輝く人が育つまち

- 領域 A(満足度が低く、重要度が高い施策)は、「17.子どもたちの心身の健康づくり対策について(食育、いじめ、不登校、体力向上、防犯・防災体制、情報モラル教育など)」が該当しています。こちらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B(満足度も重要度も高い施策)は、「14.文化財や伝統工芸の保全、継承、活用に関する取組」、「15.黄金森公園陸上競技場を活用したスポーツ・レクリエーションの振興(各種大会の実施やプロスポーツチームのキャンプ誘致を通じた技術力・意識の向上等)」、「16.子どもたちの学力向上(確かな学力の向上、読解力の育成、町そろえる実践など)及び学習環境の整備(ICT 機器の活用など)」について、「18.地域と育む特色ある学校づくり(学校応援隊はえばる(地域ボランティア含む)との連携や人材活用など)」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組の継続実施が必要です。
- 領域 C(満足度、重要度がともに低い施策)は、「10.基本的な生活習慣や基本的倫理観などを身につける上で重要な役割を担う家庭教育の重要性の周知についての取組」、「13.町民が学び・体験・交流できる機会の充実(各自治会での講座、はえばる大学、町立図書館等)」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取組の必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D(満足度が高く、重要度が低い施策)は、「11.南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を拠点とした平和学習や歴史学習の充実について」、「12.国際交流を促進させる取組(友好都市との交流、児童生徒の国際派遣事業、町内在住の外国人の方との身近な交流など)」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。

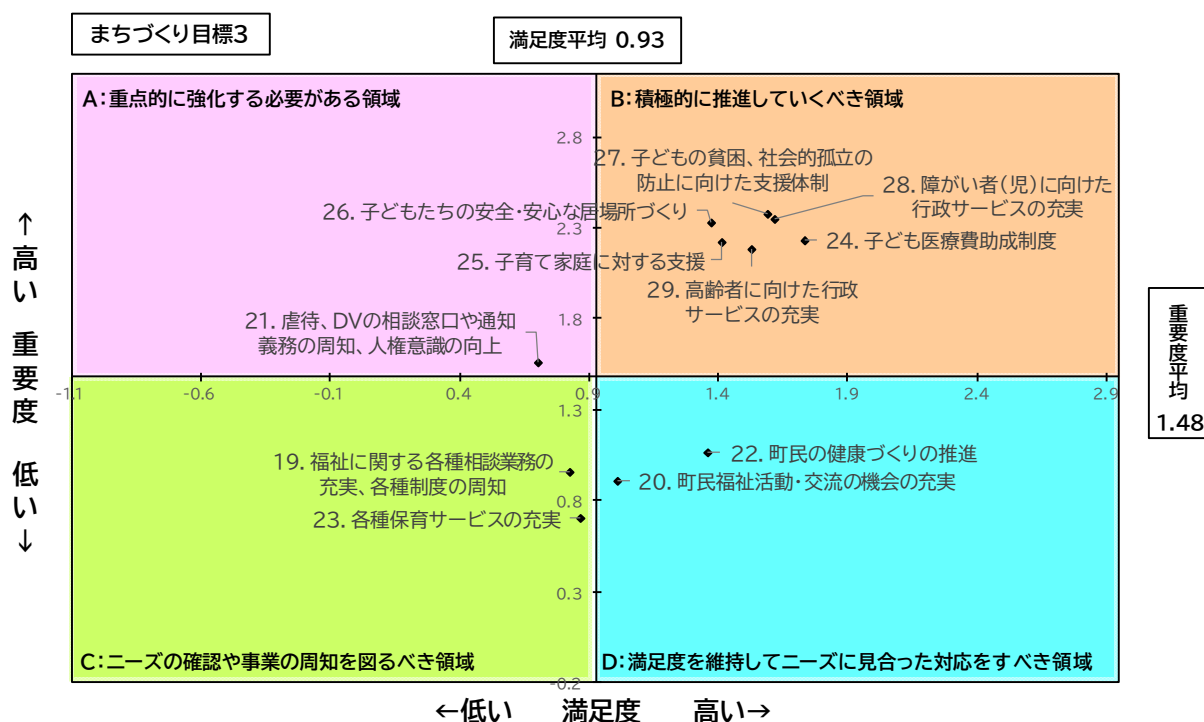


満足度と重要度の指数計算結果

領域	施策名	満足度	重要度
領域 A	17.子どもたちの心身の健康づくり対策について(食育、いじめ、不登校、体力向上、防犯・防災体制、情報モラル教育など)	0.86	2.37
領域 B	14.文化財や伝統工芸の保全、継承、活用に関する取組	1.36	1.98
	15.黄金森公園陸上競技場を活用したスポーツ・レクリエーションの振興(各種大会の実施やプロスポーツチームのキャンプ誘致を通じた技術力・意識の向上等)	1.29	1.75
	16.子どもたちの学力向上(確かな学力の向上、読解力の育成、町そろえる実践など)及び学習環境の整備(ICT 機器の活用など)について	0.99	2.11
	18.地域と育む特色ある学校づくり(学校応援隊はえばる(地域ボランティア含む)との連携や人材活用など)	1.71	2.07
領域 C	10.基本的な生活習慣や基本的倫理観などを身につける上で重要な役割を担う家庭教育の重要性の周知についての取組	0.82	1.35
	13.町民が学び・体験・交流できる機会の充実(各自治会での講座、はえばる大学、町立図書館等)	0.86	0.69
領域 D	11.南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を拠点とした平和学習や歴史学習の充実について	1.66	1.07
	12.国際交流を促進させる取組(友好都市との交流、児童生徒の国際派遣事業、町内在住の外国人の方との身近な交流など)	1.40	1.08

まちづくり目標3. ちむぐくでともにつくる福祉と健康のまち

- 領域 A(満足度が低く、重要度が高い施策)は、「21.高齢者、障がい者(児)、児童等への虐待及び DV の相談窓口や通知義務の周知や人権意識の向上についての取組」が該当しています。こちらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B(満足度も重要度も高い施策)は、「24.子ども医療費助成制度に関する取組について」、「25.子育て家庭に対する支援(妊婦健診、乳幼児健診、子育て支援センター、ふれあい子育てサロン、ファミリーサポートセンターなど)」、「26.子どもたちの安全・安心な居場所づくり(児童館、学童クラブなど)」、「27.子どもの貧困、社会的孤立の防止に向けた支援体制(生活指導、学習支援、食事の提供、キャリア形成、生活支援、見守り、就学援助制度など)について」、「28.障がい者(児)に向けた行政サービスの充実について(相談体制の充実、理解を深めるための啓発活動、生きがいづくりなど)」、「29.高齢者に向けた行政サービスの充実について(認知症予防、介護予防(ミニデイ、チャームじゅう教室等、高齢者サロン等の居場所づくりや高齢者団体への支援など))」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組の継続実施が必要です。
- 領域 C(満足度、重要度がともに低い施策)は、「19.福祉に関する各種相談業務の充実及び各種制度の周知に関する取組について」、「23.待機児童の解消や一時保育や預かり保育などの各種保育サービスの充実について」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取組の必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D(満足度が高く、重要度が低い施策)は、「20.福祉協議会等と連携した町民福祉活動・交流(子育てサロン・高齢者サロン等)の機会の充実」、「22.町民の健康づくりの推進に関する取組(ロコモティブシンドローム予防知識の普及、公園・スポーツ施設の活用、健康増進運動習慣の向上、特定健診、保健指導、栄養指導、感染症対策など)」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。

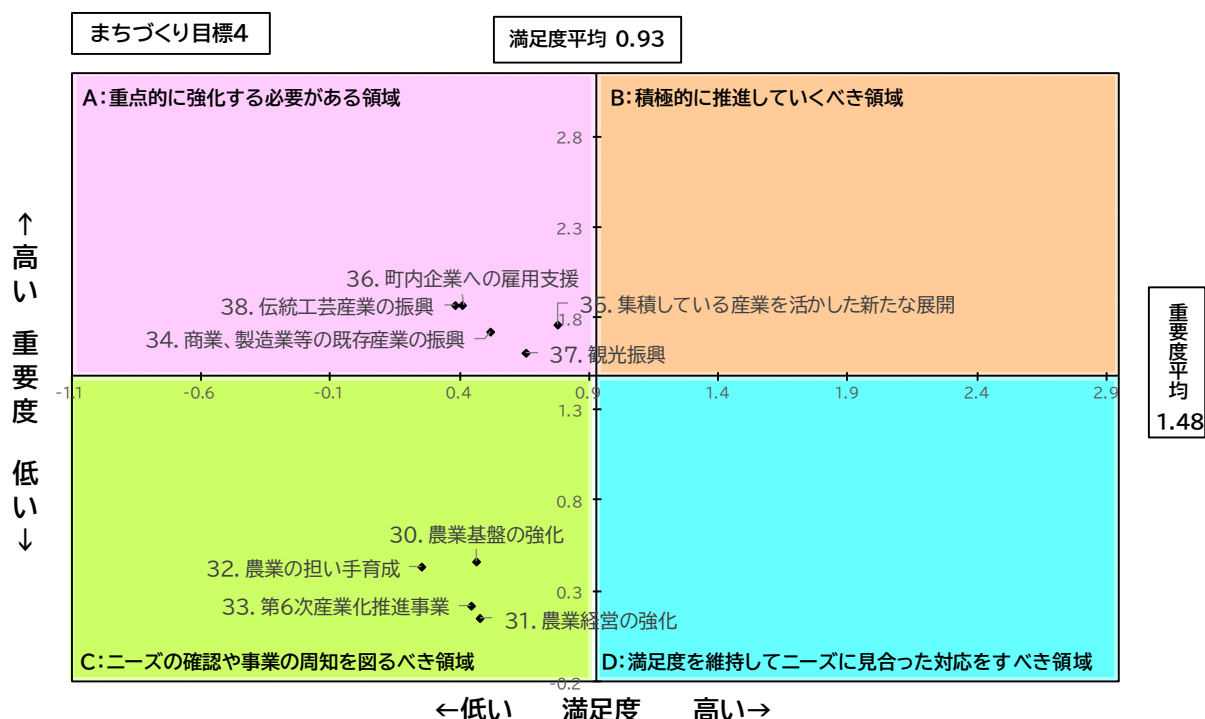


満足度と重要度の指数計算結果

領域	施策名	満足度	重要度
領域 A	21.高齢者、障がい者(児)、児童等への虐待及び DV の相談窓口や通知義務の周知や人権意識の向上についての取組	0.70	1.56
領域 B	24.子ども医療費助成制度に関する取組について	1.73	2.24
	25.子育て家庭に対する支援(妊婦健診、乳幼児健診、子育て支援センター、ふれあい子育てサロン、ファミリーサポートセンターなど)	1.41	2.22
	26.子どもたちの安全・安心な居場所づくり(児童館、学童クラブなど)	1.37	2.33
	27.子どもの貧困、社会的孤立の防止に向けた支援体制(生活指導、学習支援、食事の提供、キャリア形成、生活支援、見守り、就学援助制度など)について	1.59	2.37
	28.障がい者(児)に向けた行政サービスの充実について(相談体制の充実、理解を深めるための啓発活動、生きがいづくりなど)	1.61	2.35
	29.高齢者に向けた行政サービスの充実について(認知症予防、介護予防(ミニデイ、チャージんじゅう教室等、高齢者サロン等の居場所づくりや高齢者団体への支援など))	1.53	2.19
領域 C	19.福祉に関する各種相談業務の充実及び各種制度の周知に関する取組について	0.83	0.96
	23.待機児童の解消や一時保育や預かり保育などの各種保育サービスの充実について	0.87	0.71
領域 D	20.福祉協議会等と連携した町民福祉活動・交流(子育てサロン・高齢者サロン等)の機会の充実	1.01	0.91
	22.町民の健康づくりの推進に関する取組(ロコモティブシンドローム予防知識の普及、公園・スポーツ施設の活用、健康増進運動習慣の向上、特定健診、保健指導、栄養指導、感染症対策など)	1.36	1.07

まちづくり目標4. 工夫と連携で産業が躍動するまち

- 領域 A(満足度が低く、重要度が高い施策)は、「34.商業、製造業等の既存産業の振興について(既存産業への支援の充実、IT の活用、新たな商品開発、産官学金等が協力した高度化技術の導入・開発等への支援など)」、「35.集積している産業を生かした新たな展開について(医療・健康関連産業の連携、スポーツコンベンション等による新たなビジネス化の支援、印刷関連産業・情報関連産業の技術を活かした新たな展開など)」、「36.町内企業への雇用支援に関する取組について」、「37.観光振興に関する取組について(観光に携わる人材の育成、新たな観光資源の整備、既存の観光資源の活用、観光情報発信など)」、「38.伝統工芸産業の振興について(伝統工芸産業の技術継承・ブランド維持・商品開発・販路拡大、情報発信、後継者育成支援、観光関連産業等との連携など)」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 C(満足度、重要度がともに低い施策)は、「30.農業基盤の強化の取組(農地保全・強化、土壤改良、遊休農地・耕作放棄地解消、スマート農業(AI やドローンの導入等)の推進など)」、「31.農業経営を強化する取組(販路拡大、農商工連携、南風原産品のブランド化、優良品種の導入普及など)」、「32.農業の担い手育成の取組(認定農業者制度、若手への農業研修、農業団体の活動支援、就農情報の提供、遊休農地や耕作放棄地の地域町民の雨年としての活用、農福連携など)」、「33.農業を基軸とした第6次産業化推進事業についての取組」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取組の必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。

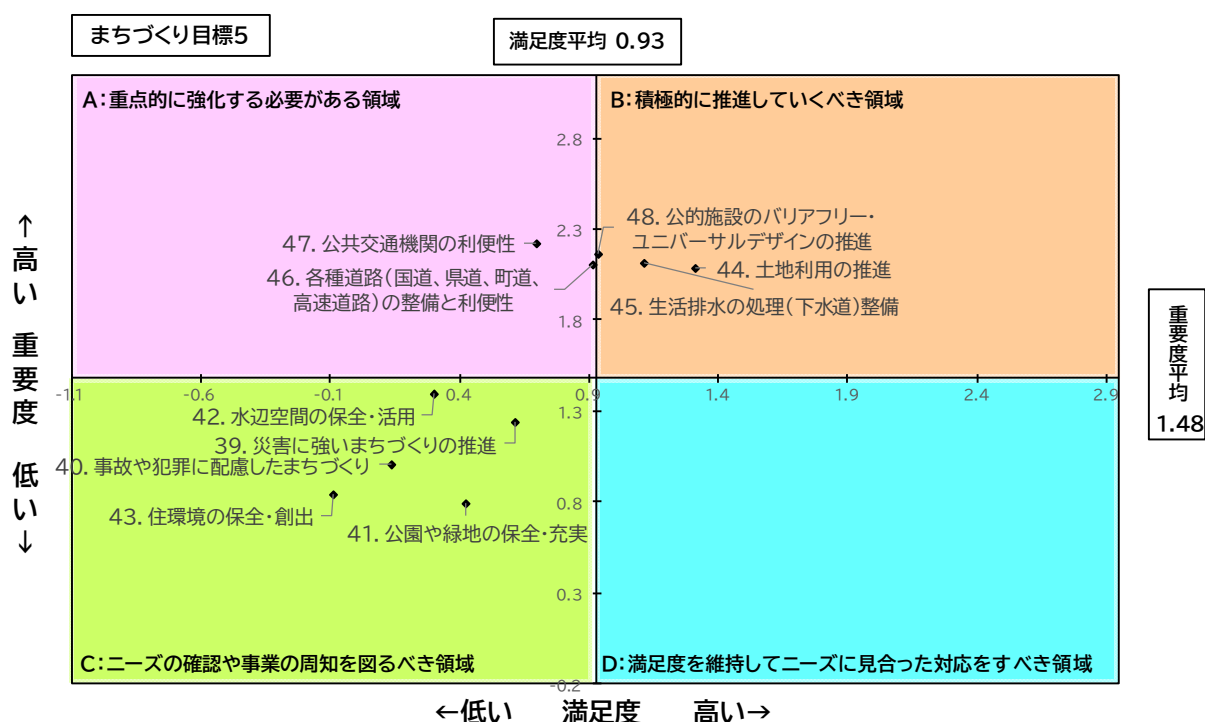


満足度と重要度の指数計算結果

領域	施策名	満足度	重要度
領域 A	34.商業、製造業等の既存産業の振興について(既存産業への支援の充実、IT の活用、新たな商品開発、産官学金等が協力した高度化技術の導入・開発等への支援など)	0.50	1.73
	35.集積している産業を生かした新たな展開について(医療・健康関連産業の連携、スポーツコンベンション等による新たなビジネス化の支援、印刷関連産業・情報関連産業の技術を活かした新たな展開など)	0.77	1.77
	36.町内企業への雇用支援に関する取組について	0.41	1.87
	37.観光振興に関する取組について(観光に携わる人材の育成、新たな観光資源の整備、既存の観光資源の活用、観光情報発信など)	0.65	1.61
	38.伝統工芸産業の振興について(伝統工芸産業の技術継承・ブランド維持・商品開発・販路拡大、情報発信、後継者育成支援、観光関連産業等との連携など)	0.38	1.87
領域 B			
領域 C	30.農業基盤の強化の取組(農地保全・強化、土壌改良、遊休農地・耕作放棄地解消、スマート農業(AI やドローンの導入等)の推進など)	0.46	0.46
	31.農業経営を強化する取組(販路拡大、農商工連携、南風原産品のブランド化、優良品種の導入普及など)	0.48	0.15
	32.農業の担い手育成の取組(認定農業者制度、若手への農業研修、農業団体の活動支援、就農情報の提供、遊休農地や耕作放棄地の地域町民の雨年としての活用、農福連携など)	0.24	0.43
	33.農業を基軸とした第6次産業化推進事業についての取組	0.42	0.22
領域 D			

まちづくり目標5. みどりとまちが調和した安全・安心のまち

- 領域 A(満足度が低く、重要度が高い施策)は、「46.各種道路(国道、県道、町道、高速道路)の整備と利便性について」、「47.町内における公共交通機関(バスなど)の利便性について」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B(満足度も重要度も高い施策)は、「44.町の特性を活かした土地利用の促進について」、「45.生活排水の処理(下水道)整備について」、「48.歩道の拡幅や公的施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組の継続実施が必要です。
- 領域 C(満足度、重要度がともに低い施策)は、「39.災害に強いまちづくりの推進(防災訓練の実施、自主防災組織の設立、減災のまちづくりへの取組、防災に関する各種情報の発信など)」、「40.事故や防犯に配慮したまちづくり(防犯灯や交通安全施設の設置など)」、「41.公園や緑地の保全・充実に関する取組(公園・広場の整備、緑道整備など)」、「42.水辺空間の保全・活用の取組(自然観察・環境学習の場としての活用、生物の多様性の保全・活用、河川の水質改善など)」、「43.個性ある美しい住環境の保全・創出(景観づくり、快適で利便性の高い良好な市街地環境の形成など)」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取組の必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。

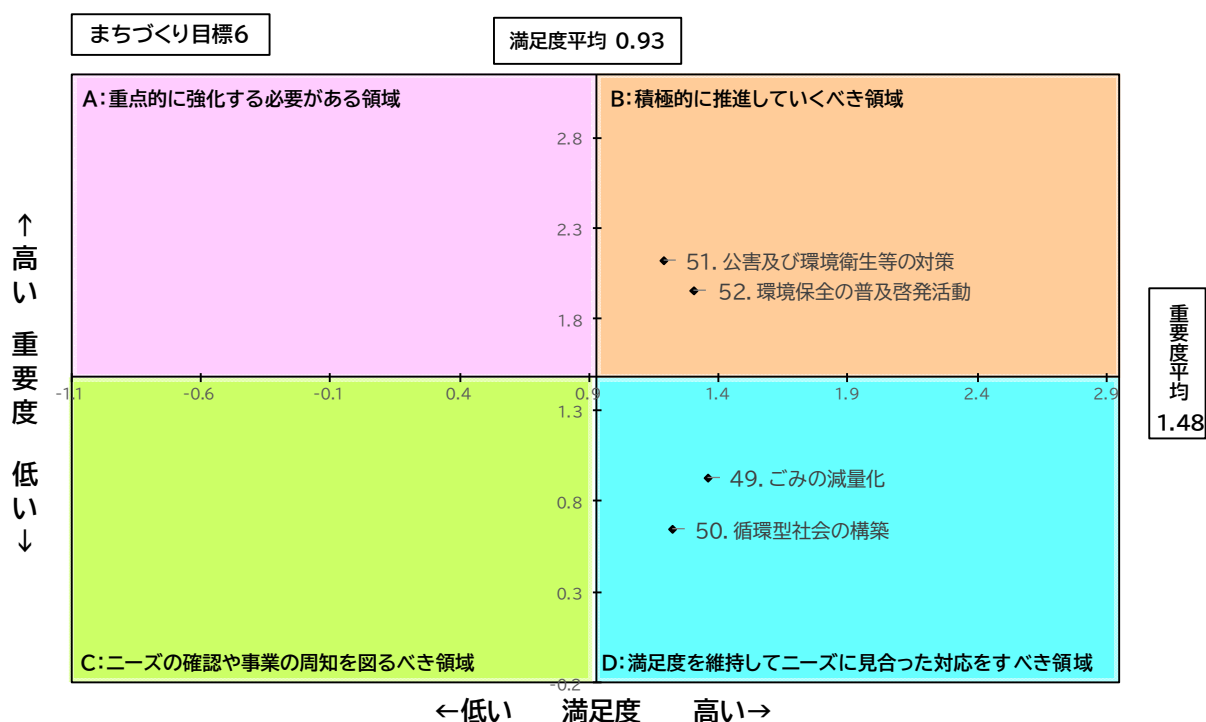


満足度と重要度の指数計算結果

領域	施策名	満足度	重要度
領域 A	46.各種道路(国道、県道、町道、高速道路)の整備と利便性について	0.92	2.10
	47.町内における公共交通機関(バスなど)の利便性について	0.69	2.22
領域 B	44.町の特性を活かした土地利用の促進について	1.30	2.08
	45.生活排水の処理(下水道)整備について	1.11	2.11
	48.歩道の拡幅や公的施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	0.94	2.16
領域 C	39.災害に強いまちづくりの推進(防災訓練の実施、自主防災組織の設立、減災のまちづくりへの取組、防災に関する各種情報の発信など)	0.62	1.24
	40.事故や防犯に配慮したまちづくり(防犯灯や交通安全施設の設置など)	0.13	1.01
	41.公園や緑地の保全・充実に関する取組(公園・広場の整備、緑道整備など)	0.42	0.79
	42.水辺空間の保全・活用の取組(自然観察・環境学習の場としての活用、生物の多様性の保全・活用、河川の水質改善など)	0.30	1.39
	43.個性ある美しい住環境の保全・創出(景観づくり、快適で利便性の高い良好な市街地環境の形成など)	-0.08	0.84
領域 D			

まちづくり目標6. 環境と共生する美しく住みよいまち

- 領域 B(満足度も重要度も高い施策)は、「51.公害及び環境衛生等の対策(公害対策、野犬・ハブ・害虫等の対策、不法投棄防止など)」、「52.環境保全の普及啓発活動について(学校での環境学習、情報発信、イベント開催、省エネルギー対策活動など)」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組の継続実施が必要です。
- 領域 D(満足度が高く、重要度が低い施策)は、「49.ごみの減量化の取組(減量化、分別、リサイクル)」、「50.循環型社会の構築への取組(はえばるリサイクルループ事業(食品廃棄物の循環、養豚用飼料化)、草木堆肥化など)」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。



満足度と重要度の指数計算結果

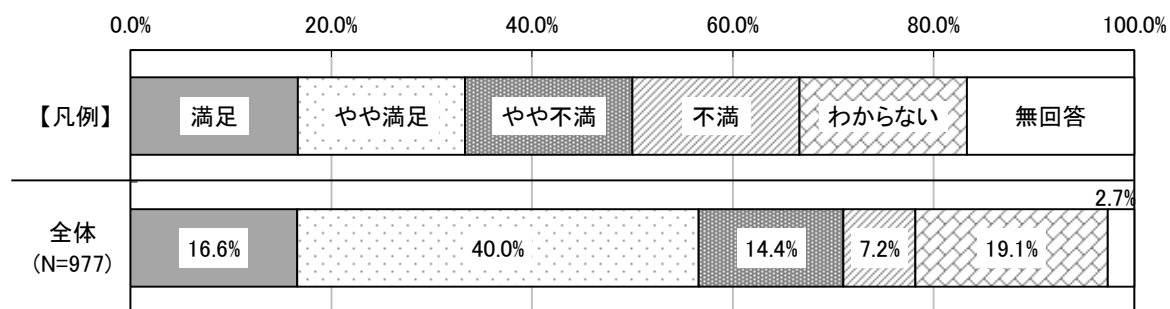
領域	施策名	満足度	重要度
領域 A			
領域 B	51.公害及び環境衛生等の対策(公害対策、野犬・ハブ・害虫等の対策、不法投棄防止など)	1.18	2.12
	52.環境保全の普及啓発活動について(学校での環境学習、情報発信、イベント開催、省エネルギー対策活動など)	1.30	1.96
領域 C			
領域 D	49.ごみの減量化の取組(減量化、分別、リサイクル)	1.36	0.93
	50.循環型社会の構築への取組(はえばるリサイクルループ事業(食品廃棄物の循環、養豚用飼料化)、草木堆肥化など)	1.22	0.65

6. 行政サービス満足度について

⇒町民の5割以上が行政サービスについて満足と感じている。

●町民の行政サービスへの満足度について、「やや満足」が40.0%と最も多く、次いで「わからない」で19.1%、「満足」で16.6%などとなっており、『満足である(「満足」+「やや満足」の合計)』と回答された方が56.6%となっています。

○一般:行政サービス満足度

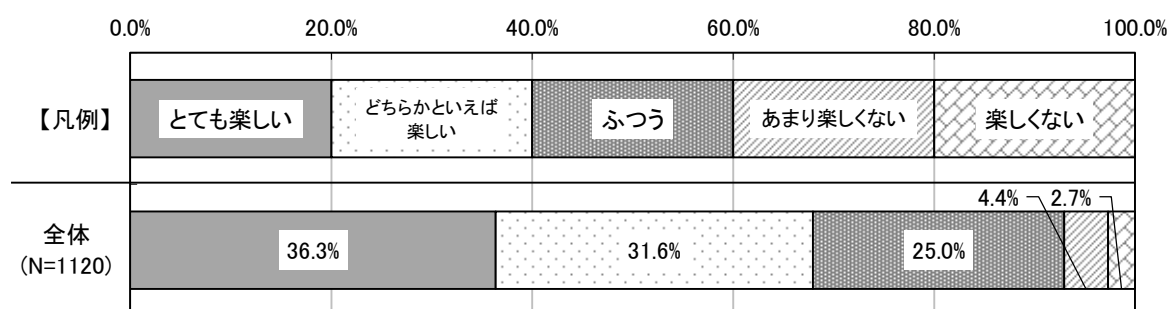


7. 学校生活について

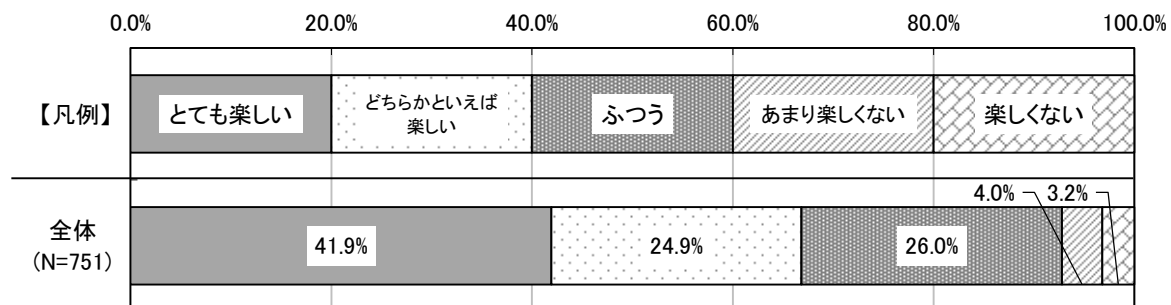
⇒小・中学生の6割以上が学校生活を楽しいと感じている。

- 中学生の学校生活は、「とても楽しい」が 36.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば楽しい」で 31.6%、「ふつう」で 25.0%などとなっており、『楽しい(「とても楽しい」+「どちらかといえば楽しい」の合計)』と回答された方が 67.9%となっています。
- 小学生の学校生活は、「とても楽しい」が 41.9%と最も多く、次いで「ふつう」で 26.0%、「どちらかといえば楽しい」で 24.9%などとなっており、『楽しい(「とても楽しい」+「どちらかといえば楽しい」の合計)』と回答された方が 66.8%となっています。

○中学生:学校生活



○小学生:学校生活

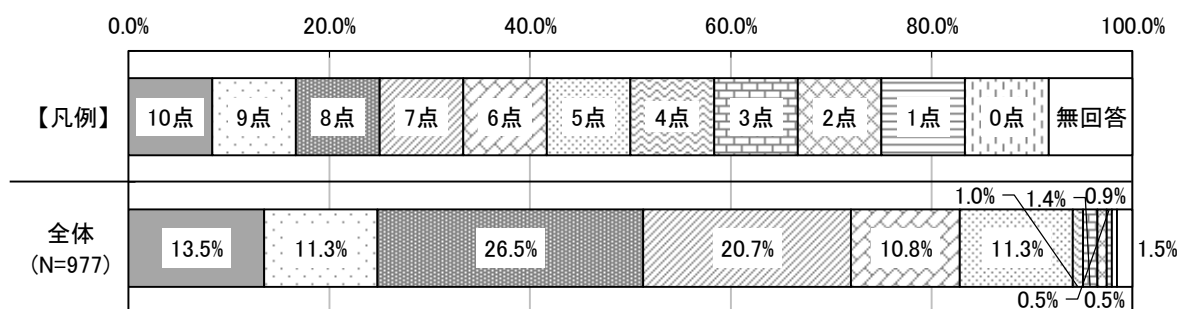


8. 幸福度について

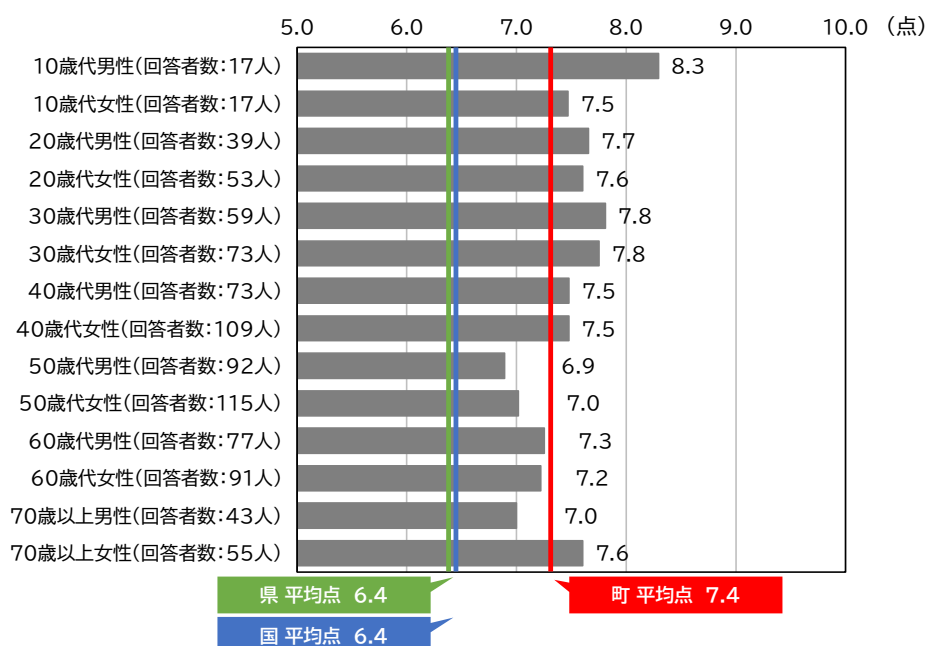
⇒町民の幸福度は、全体的に点数は高い結果となっている。一方、性別・年齢別でみると、「50 歳代男性・女性」と「60 歳代男性・女性」、「70 歳以上男性」については、全体の平均点を下回っている。

- 町民の幸福度は、全体では「8 点」が 26.5%と最も多く、次いで「7 点」で 20.7%、「10 点」で 13.5%などとなっており、平均点が「7.4 点」となっています。
- 町民の性別・年齢別の平均点については、「10 歳代男性」が 8.3 点と最も高く、次いで「30 歳代男性」で 7.8 点、「30 歳代女性」で 7.8 点などとなっており、ほぼすべての性別・年齢で全体の平均点を上回っていますが、「50 歳代男性・女性」と「60 歳代男性・女性」、「70 歳以上男性」については、全体の平均点を下回る結果となっています。
- 中学生の幸福度は、「10 点」が 26.6%と最も多く、次いで「8 点」で 19.7%、「7 点」で 17.4%などとなっています。
- 小学生の幸福度は、「10 点」が 36.2%と最も多く、次いで「8 点」で 16.1%、「9 点」で 14.4%などとなっています。

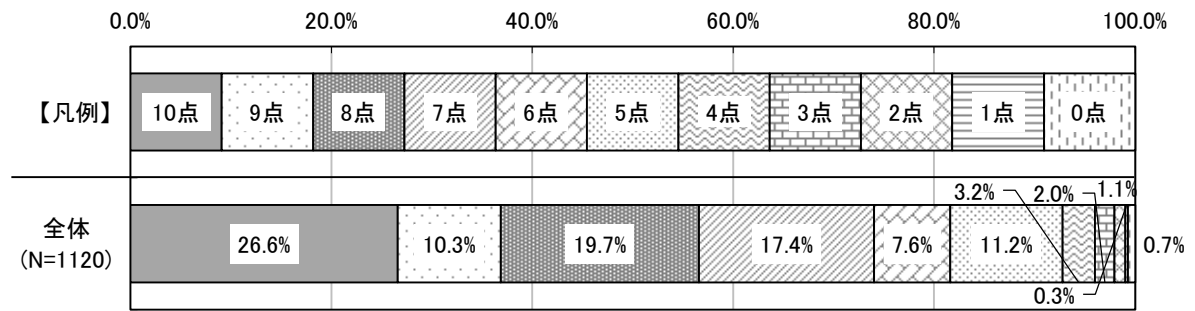
○一般：幸福度



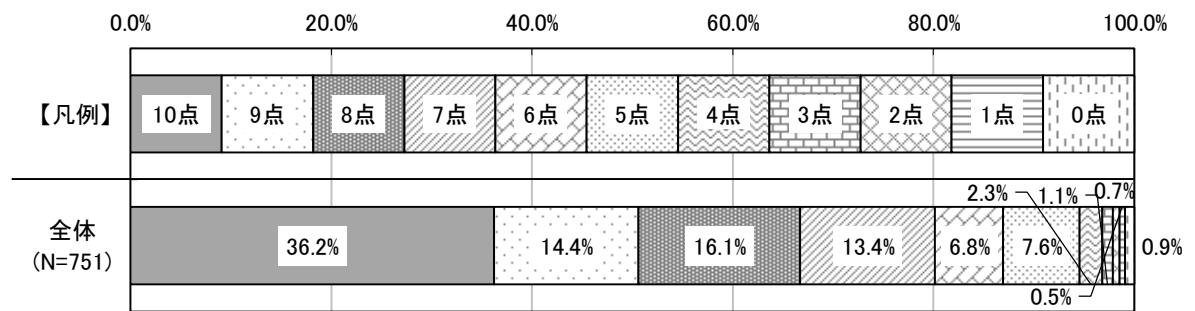
○一般：性別・年齢別の幸福度平均点



○中学生:幸福度



○小学生:幸福度

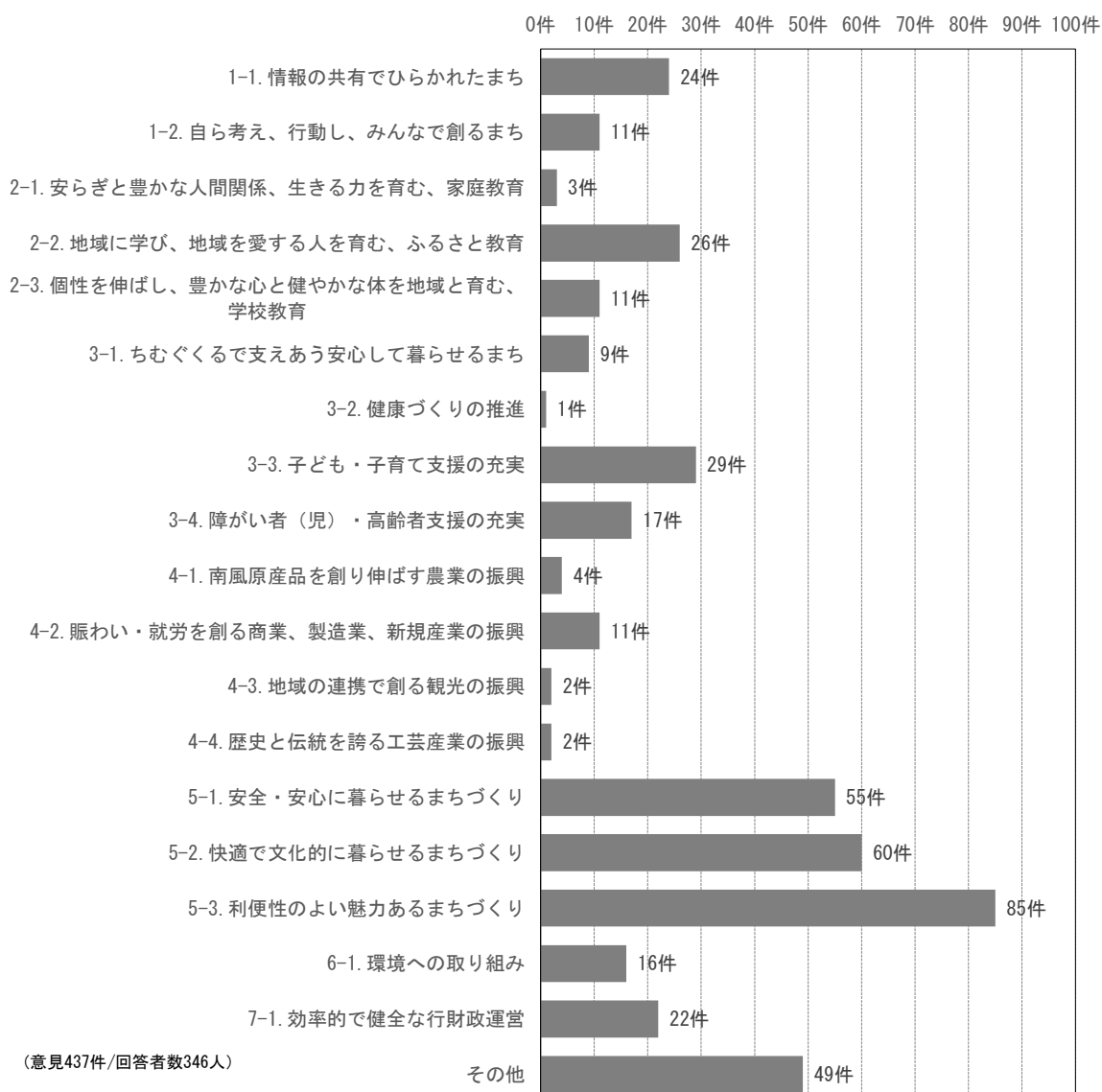


9. 自由意見について

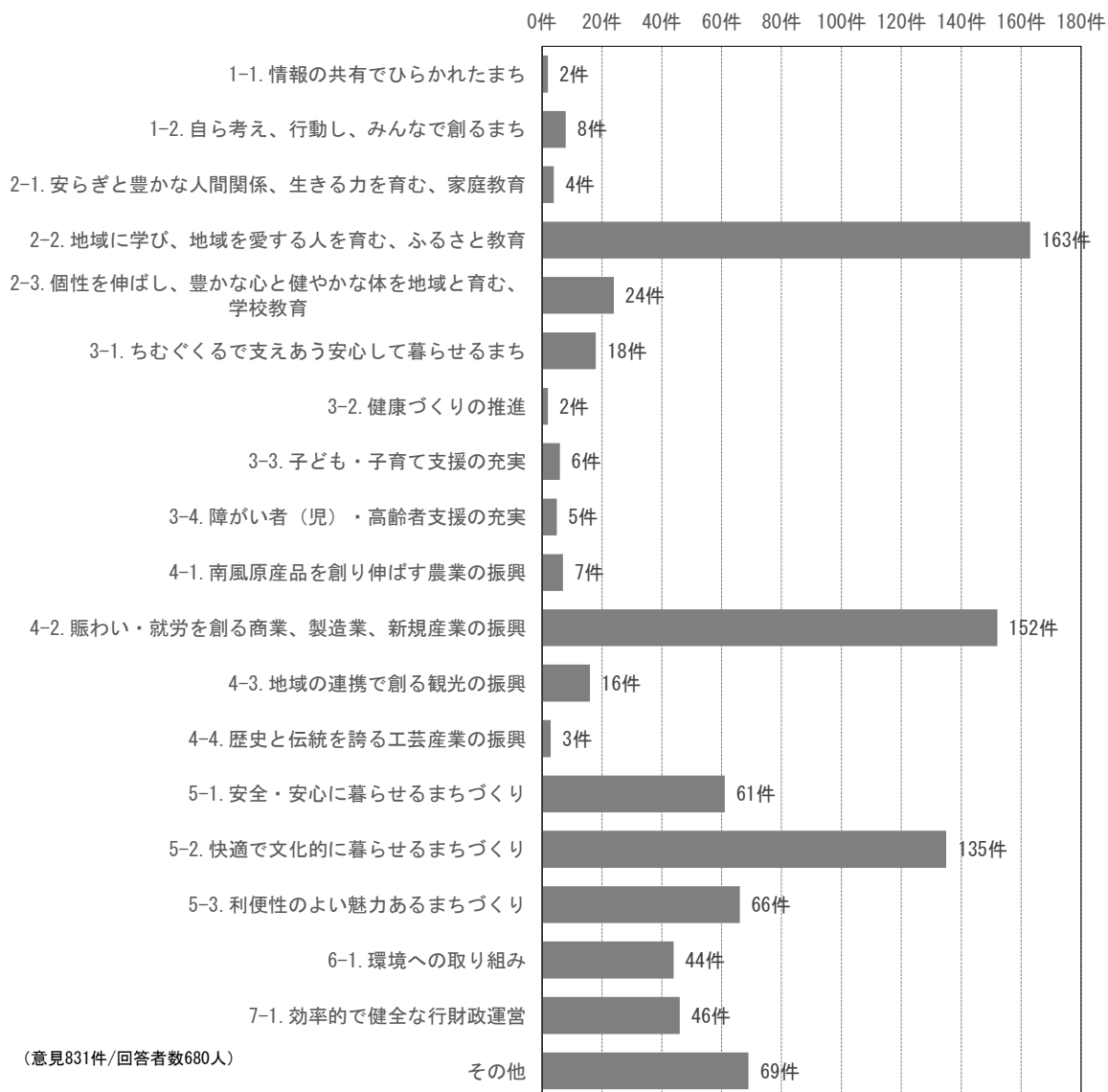
⇒町民の日常生活に関連する、まちづくり目標5「みどりとまちが調和した安全・安心のまち」についての自由意見が多く挙げられた。

- 町民の自由記述意見は、「5-3.利便性のよい魅力あるまちづくり」についての意見が 85 件と最も多く、次いで「5-2.快適で文化的に暮らせるまちづくり」で 60 件、「5-1.安全・安心に暮らせるまちづくり」で 55 件などとなっています。
- 中学生の自由記述意見は、「2-2.地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育」についての意見が 163 件と最も多く、次いで「4-2.賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興」で 152 件、「5-2.快適で文化的に暮らせるまちづくり」で 135 件などとなっています。
- 小学生の自由記述意見は、「5-2.快適で文化的に暮らせるまちづくり」についての意見が 154 件と最も多く、次いで「2-2.地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育」で 115 件、「4-2.賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興」で 100 件などとなっています。

○一般：自由記述意見



○中学生:自由記述意見



○小学生:自由記述意見

